

中学生でも解ける東大大学院入試問題（１７５）

2015-04-20 12:30:40

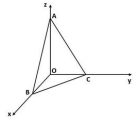
こんにちは。東久留米市の学習塾塾長です。

天気予報通り、朝から小雨です。夕方からはしつかり降るようですが、明日の午後から回復に向かい、水曜日からしばらく晴れの日が続くようです。今年の４月は雨の日が多く感じます。

さて、今回は平成２５年度東大大学院新領域創成科学研究科海洋技術環境学の入試問題です。

問題は、

「図のように、直交する座標軸の原点を O とし、座標軸上にそれぞれ点 A 、 B 、 C をとり三角錐を作る（ $OA = 2$ 、 $OB = 1$ 、 $OC = 1$ ）。この三角錐内で、 $q = \alpha_0 + \alpha_1 x + \alpha_2 y + \alpha_3 z$ （ α_0 、 α_1 、 α_2 、 α_3 は定数で、 x 、 y 、 z は座標の値）で q が示されるとする。各頂点での q の値を、 $q_O = 0$ 、 $q_A = 4$ 、 $q_B = 2$ 、 $q_C = 2$ としたとき、 $q = 3$ となる等値面の三角錐内での面積を求めよ。



です。

初めに、点 A 、 B 、 C の座標を求めましょう。 $OA = 2$ 、 $OB = 1$ 、 $OC = 1$ ですから、 $A(0, 0, 2)$ 、 $B(1, 0, 0)$ 、 $C(0, 1, 0)$ で、原点 $O(0, 0, 0)$ です。

これらの座標値を式

$$q = \alpha_0 + \alpha_1 x + \alpha_2 y + \alpha_3 z \quad (1)$$

に代入すると、

$$q_O = \alpha_0 + \alpha_1 \cdot 0 + \alpha_2 \cdot 0 + \alpha_3 \cdot 0$$

$$= \alpha_0$$

$$= 0$$

$$q_A = \alpha_0 + \alpha_1 \cdot 0 + \alpha_2 \cdot 0 + \alpha_3 \cdot 2$$

$$= \alpha_0 + 2\alpha_3$$

$$= 4$$

$$q_B = \alpha_0 + \alpha_1 \cdot 1 + \alpha_2 \cdot 0 + \alpha_3 \cdot 0$$

$$= \alpha_0 + \alpha_1$$

$$= 2$$

$$q_C = \alpha_0 + \alpha_1 \cdot 0 + \alpha_2 \cdot 1 + \alpha_3 \cdot 0$$

$$= \alpha_0 + \alpha_2$$

$$= 2$$

となります。

(2) (3) (4) (5) から、

$$\alpha_0 = 0$$

$$\alpha_1 = 2$$

$$\alpha_2 = 2$$

$$\alpha_3 = 2$$

となり、これらを (1) に代入して、

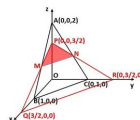
$$q = 2x + 2y + 2z \quad (6)$$

となります。

したがって、 $q = 3$ となる等値面は、(6) に $q = 3$ を代入して、

$$x + y + z = 3/2 \quad (7)$$

で表される平面になり、これを図 1 に示します。

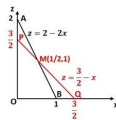


▲ 図 1. $x + y + z = 3/2$ の平

ここで問われているのは、三角錐 ABC 内にある平面 (7) の面積で、これは図 1 の $\triangle PMN$ (赤色領域) の面積になります。

そこで、直線 AB と直線 PQ の交点を求めます。

図 2 にあるように、直線 AB の式は、 $z = 2 - 2x$ 、直線 PQ の式は、 $z = 3/2 - x$ なので、交点 M は、 $M(1/2, 0, 1)$ です。



▲図2. 直線ABと直線PQの交点Mを求めます

同様に、直線ACと直線QRの交点Nは、 $N(0, 1/2, 1)$ です。

以上から、 $P(0, 0, 3/2)$ 、 $M(1/2, 0, 1)$ 、 $N(0, 1/2, 1)$ を頂点とする三角形の面積を求めることになるのですが、あとは、適当に底辺と高さを決めて、三角形の面積を計算してもOKですし、この三角形が正三角形になることを使ってもOKです。

ここでは、MNを底辺として面積を求めてみます。

三平方の定理から、

$$MN^2 = (1/2)^2 + (1/2)^2$$

$$= 1/2$$

$$MN = \sqrt{1/2}$$

です。

点Pから底辺MNに下ろした垂線の足は、MNの中点なので、その座標は $(1/4, 1/4, 1)$ で、点Pからの長さhは、
 $h = \sqrt{(1/4)^2 + (1/4)^2 + (1 - 3/2)^2}$

$$= \sqrt{6}/4$$

となり、これが高さになります。

したがって、 $\triangle PMN$ の面積Sは、

$$S = 1/2 \cdot \sqrt{1/2} \cdot \sqrt{6}/4$$

$$= \sqrt{3}/8$$

で、これが答えになります。

3次元空間での平面は高校で勉強しますが、その式は、 $ax + by + cz + d = 0$ となります。平面上の直線の式 $ax + by + c = 0$ にzの項を加えた形です。興味のある人は調べてみてください。

東久留米の学習塾 学研CAIスクール 東久留米滝山校

<http://caitakiyama.jimdo.com/>

TEL 042-472-5533